

我が国のレジオネラ対策指針の歴史(抜粋)

発表年	浴槽水関連
1994年 3月	(財)ビル管理教育センター「レジオネラ症防止指針」発行
1995年 3月	全国旅館環境衛生同業組合連合会「レジオネラ属菌防除指針」発行
1997年 5月	通産省「24時間風呂衛生問題検討専門会議所見」公表
1998年12月	感染症の予防および感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則公布(厚生省令第99号)
1999年11月	(財)ビル管理教育センター「新版 レジオネラ症防止指針」発行
2000年12月	公衆浴場における衛生管理要領等の改正(厚生省生活衛生局長通知第1811号)
2001年 7月	遊泳プールの衛生基準の改正(厚生労働省健康局長通知第774号)
2001年 9月	「循環式浴槽におけるレジオネラ症防止対策マニュアル」公表 (厚生労働省健康局生活衛生課長通知第95号)
2002年10月	公衆浴場法並びに旅館業法に基づく条例などにレジオネラ症発生防止対策を追加する際の指針通知 (厚生労働省健康局長通知第1029004号)
2003年 2月	公衆浴場における衛生管理要領等の改正(厚生労働省健康局長通知021400号)
2003年 7月	レジオネラ症を予防するために必要な措置に関する技術上の指針告示(厚生労働省告示第264号)



レジオネラ症防止対策のための
自己管理マニュアルを作成しましょう。
管理はろ過器の台数ではなく、浴槽の
個数で行うことをお勧めします。

入浴施設の衛生管理

レジオネラ症防止対策



Total Sanitation System

 株式会社 イムテス

環境事業部

〒516-0044

三重県伊勢市前山町123番地3

TEL (0596) 24-0206 FAX (0596) 25-0274

水質検査・環境検査・食品検査・臨床検査

除菌消臭液、洗浄剤、衛生材料製造販売

環境衛生コンサルティング・入浴施設衛生管理コンサルティング

 株式会社 イムテス

お風呂の衛生管理、どうしていますか？

厚生労働省はレジオネラ症防止対策として、設備等の衛生管理を指針に組み込むなど、レジオネラ対策で設備管理は欠かせない要因となっています。

そこで、レジオネラとはなにかということから設備管理のポイントまでを簡単にご説明します。

レジオネラ症とは…

1976年にアメリカ合衆国フィラデルフィア内のホテルで在郷軍人会総会が開かれ、その参加者の間で原因不明の肺炎が集団発生しました。後にこの時の「the Legion(アメリカ在郷軍人会)」からとり、「レジオネラ症」という病名がつきました。

レジオネラ症は他の細菌性肺炎との区別はつきにくく、早期治療を行わなかった場合の致死率は非常に高く、高齢者や慢性呼吸器疾患、糖尿病などに罹患している人、あるいは乳幼児など抵抗力の弱い人では感染しやすくなります。

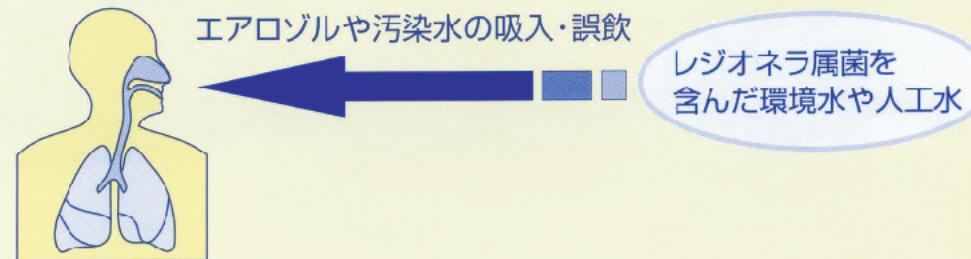
レジオネラ属菌とは…

土壤や河川など自然環境に広く生息しています。一般に20~50°Cで繁殖し36°C前後が最も生育に適しています。菌の形態は、0.3~0.9×2~20 μmのグラム陰性桿菌で細長い形をしています。また、生存・増殖するために他の細菌や藻類などから必要な栄養分を吸収したり、アーベバなどの原生動物に寄生して増殖します。



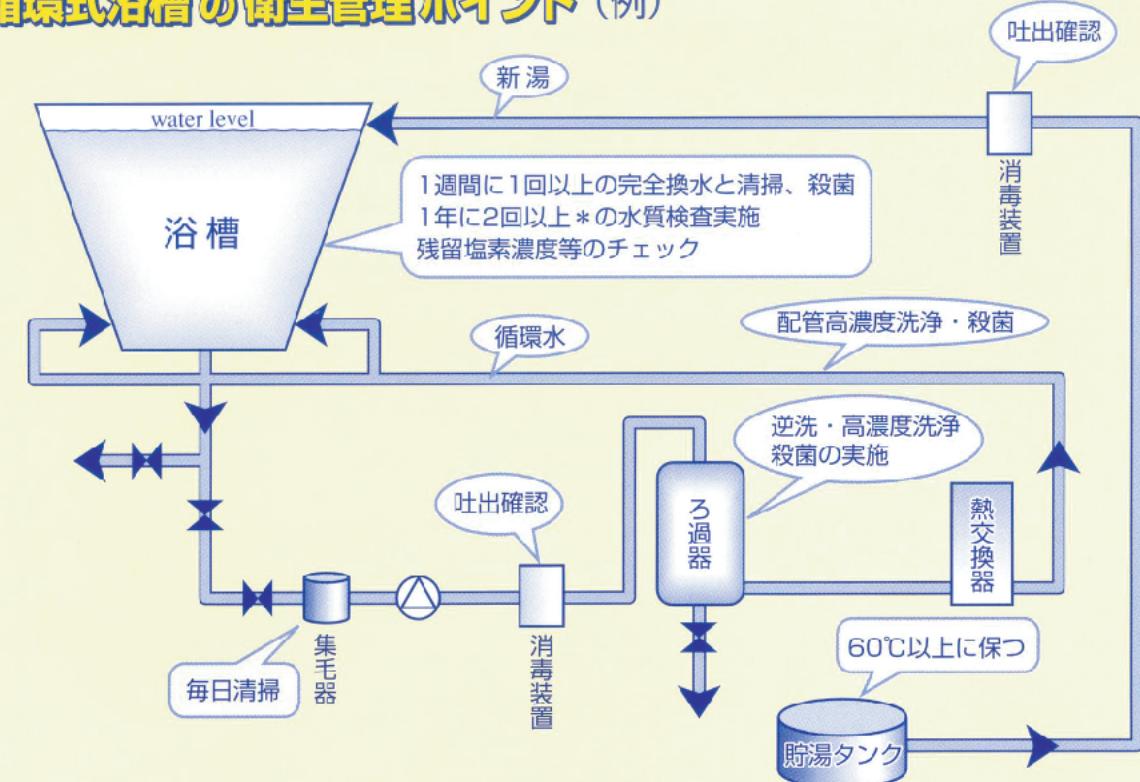
(東京都衛生研究所)

主な感染経路は…



レジオネラ属菌は、土壤や淡水に生息していますが自然界では弱く、しかし土埃と共に運ばれて空調の冷却塔などに入るとそこで繁殖し、感染源となる可能性があります。また、その他では、加湿器、給湯設備、人工の滝や噴水、循環式の浴槽などの水が循環あるいは停滞するような温かい（20°Cくらい）設備内では、配管や壁面にぬめり（生物膜）が形成されやすく、レジオネラ属菌が寄生するアーベバなどの原生動物が繁殖しやすいところが感染源となります。また、循環式の浴槽でなくとも管理の行き届いていない設備では繁殖するおそれがあります。

循環式浴槽の衛生管理ポイント（例）



- ・浴槽水の塩素濃度等の測定を1日に1回以上実施。
＊入浴者数やその他の要因により回数は増します。
- ・浴槽水は1週間に1回以上の完全換水を行い、清掃と殺菌・消毒等の措置。
- ・浴槽水の検査は毎日換水している施設では1年に1回以上、その他は1年に2回以上のレジオネラ属菌検査とその他の検査を実施。（大腸菌群・有機物等・濁度）
＊水質検査の実施回数は、循環の有無、感染因子の点数により変動します。
- ・貯水タンクの温度は60°C以上に保持。
- ・集毛器（ヘアキャッチャー）は毎日清掃。
- ・消毒装置はチューブのエアカミや薬液による固化などの吐出不能等の確認を実施。
- ・ろ過器は逆洗浄を行い、必要に応じて薬品等を使った高濃度殺菌洗浄を実施。

※使用している水や湯の性質を理解した管理方法で行いましょう。（上記は一例です）

その他レジオネラ症の予防対策が必要な設備

- ・修景用水（噴水・人工の滝等）
- ・冷却塔（水冷式）
- ・給湯設備（循環式）
- ・加湿器（超音波式など非加熱式）